

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ州)	在リヨン出張駐在官事務所 リヨン日本人会治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 紙	2012年8月31日	2012年8月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び在リヨン出張駐在官事務所ルート	
調査項目:	① 安全情報説明会の開催 ② 邦人対象の治安情報 ③ テロなどの一般治安情報 ④ 今月の出来事 ⑤ その他の情報		

報告要旨

1. 安全情報説明会の開催

9月4日(火)リヨン出張駐在官事務所において、日本人会、日仏友好協会、日本語補習授業校及び日系企業等の団体を対象に「領事情報説明会」を開催しました。今後も定期的に安全情報説明会を開催することを検討しておりますので、是非ご参加ください。

講演会の要点を次の通りご案内いたします。

領事情報説明会

1 フランス犯罪と邦人保護

- (1) 年間海外旅行をする日本人は、1600万人とも1800万人ともいわれていますが、2011年在外公館が取り扱った邦人保護件数は17,093件でした。その中でも、ヨーロッパでは、アジアなどの他の地域と比べ、「スリ・窃盗」の被害に遭う方がとても多いですので注意が必要です。
- (2) 駐在員の方などは、日本とは異なる「生活環境の変化の激しさ」「勤務環境の厳しさ」による、「過労」「暴飲暴食」「過密な出張スケジュール」などがストレスとなり、病気や精神障害を起こす可能性がありますので、体調管理には十分注意する必要があります(厚生労働省HPのストレスセルフチェックを案内)。

2 リヨンの治安

- (1) リヨン及びその近郊の犯罪多発地域は発生件数の多い順から、リヨン東地区(VILLEURBANNE等)、リヨン3区、リヨン2区となっています。リヨン市内では、列車駅や繁華街などに、スリ、ジプシー風の人々または若者など多くの人が集まるためトラブルに巻き込まれる可能性も高くなっています。見知らぬ人から声を掛けられたり、絡まれたりしても、相手にせず速やかにその場から離れましょう。
- (2) フランス政府は新しい政策の一つとして、国内の治安対策で特に注意を要する地域15カ所を「優先治安対策地区」と指定しました。リヨンにも「暴力を伴った窃盗・組織化不良グループ」への対策として、リヨン9区が指定されています。

3 情報提供のお願い

当事務所を含む世界の在外公館は、被害に遭った日本人等からの情報を収集し、日本人をターゲットとしている犯罪が増加していれば、フランス政府に対し、安全対策を強化してもらうことを申し入れることが可能です。従いまして、不幸にも被害に遭ってしまった方がおられましたら、当事務所への報告をお願いします。

4 その他領事情報の説明

- (1) 本年7月から、車へのアルコール検知器の備え付けが義務づけられています。11月から本格的に義務違反者には反則金が課せられる予定ですので、車やバイクをお持ちの方(50cc除く)でまだ購入していない方は早く購入してください。
- (2) フランスでの各種手続きの必要書類の種類は、提出先により様々です。書類の中には日本でしか入手できない種類のものもあるため、手続きがスムーズに進むよう、事前に提出先にしっかりと必要書類の確認をしてください。
- (3) 大規模災害の発生や鳥インフルエンザの流行等の際に、皆様の安否を確認する基となる資料は、皆様から提出のあった在留届の連絡先です。メールアドレスが異なっていた場合は、緊急一斉通報システムからの連絡が受けられない弊害等もありますので、引っ越しや携帯電話買い換え等で連絡先を変更した場合は、在留届の内容変更の連絡をお願いします。

2. 邦人対象の治安情報

- A、 一般的傾向
 B、 地区別・犯罪集計結果：補足文書 1
 C、 多発の手口と場所の特定、防止策：補足文書 2

A, 一般的傾向

今月は個人宅や空き巣、お年寄りを狙ったひったくり、偽の水道局職員・警察官の手口による盗難が圧倒的に多くみられました。空き巣は特に、住宅の1階や2階で暑い夏の夜に窓を開けたまま寝ている隙に被害を被るケースが相次ぎました。次いで破損・放火、強盗や暴力窃盗が多く報告されています。

[補足文書 1]

B, 地区別 治安情報集計結果

事件発生件数を地区別に見ると、リヨン北地区の Caluire、リヨン東地区の Villeurbanne での犯行が圧倒的に多く、次いでリヨン2区、リヨン3区となっています。

2012年8月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨン南	リヨン北	73県	イゼール県	ロワール県	合計
殺人事件・凶悪事件																	0
すり																	0
空き巣・盗難	1	1	2		3	1	2	1		5	3		5		1		25
置き引き																	0
引ったくり				1									1		1		3
万引き		1	1														2
強盗・暴力窃盗	1	1	2							2		1				2	9
窃盗（車・自転車）																1	1
カーホームジャック																	0
車内盗難						1							1		1		3
猥褻行為・強姦										3			1			2	6
いたずら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為					1						1		4				6
詐欺（カードなど）																	0
拉致、誘拐																	0
破損・放火	2	2							1	1			3			1	10
ストーカー																	0
麻薬取引・所持			1							1				1			3
飲酒／無免許運転							1		1							1	3
夫婦間暴力		1								1							2
軽犯罪																	0
合計	4	6	6	1	4	2	3	1	2	13	4	1	15	1	3	7	73

備考欄： リヨン東→Meysieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons
 リヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon
 リヨン南→Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison
 リヨン北→Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas

* 数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はない。

[補足文書 2]

C, 多発の手口と場所の特定・防止策（新聞による報道記事から）

ATMで現金を引き出しているところを狙われるケースが相変わらず多く見られました。お年寄りに限らず、現金を引き出す際は建物の中にあるATMをできるだけ利用しましょう。やむを得ず外のATMを使う場合は周囲に怪しい者がいないか目を配り、十分に警戒する必要があります。また、軽い自動車事故を装って言いがかりをつけ現金を騙し取る新しい手口が急増の傾向にあります（以下の記事を参照）。このようなケースに遭ったと思ったら、できるだけ冷静に対応し、すぐにその場で自分が加入している自動車保険業者に電話したり、きちんと供述証書を作成する意思があるなど、はっきりとした態度を示すことが大切です。

- ❖ この3ヶ月の間リヨン市内のATMで5回にわたりお年寄りからキャッシュカードを盗んで現金を引き出していたマルセイユ出身の20歳と22歳の男2人が逮捕された。2人組の手口は手馴れたもので、ATMの近くでターゲットの老人に目を付け、暗証番号を入力するのを待ってから被害者に話しかけて注意を引いている間にもう1人がカードを盗むというもの。どちらか1人が暗証番号を盗み見する。たいていの場合被害者はすぐには被害に遭ったことに気付かない。こうして、5月20日から7月15日の間に、クロワルッス地区とリヨン1区で5回犯行が繰り返され、被害額は6500ユーロを超えた。6回目の犯行の被害者はカードが無くなっているのに気が付いた。ATMの監視を行っていた犯罪対策部隊（BAC）が、2人の容疑者を逮捕した。（プログレ紙8月17日）
- ❖ 夏、特に猛暑の時期に、開いた窓から侵入する泥棒にご注意。
3週間ほど前から、開いた窓までよじ登って家内に侵入する盗難事件がリヨン市内で多発している。盗難届けがないケースもあるため正確な件数は不定だが、それでも50件あまりにのぼると見られる。リヨン4区だけでも、8月4日から20日までの間に12件の盗難が見られた。手口はいずれも同じで、犯人は特に暑い夜に開いた窓を利用して中に侵入し、手当たり次第に物を盗む。アパートの1階と2階が特に被害に遭いやすく、2階の場合、犯人はベンチや木などによじ登って窓に至る。留守宅ではなく、被害者が寝ている間にこっそり忍び込むため、被害者は翌日にしか気が付かないことが多い。オーディオ機器、コンピュータ、ゲーム機などのほか、身分証明書や小切手、現金、宝石類が狙われる。建物の下の階にお住まいの方はくれぐれも窓を開けっぱなしで寝ないようにご注意ください。（プログレ紙8月24日）
- ❖ 数週間前から、自動車運転手をターゲットにした新しい手口による路上犯罪が多発している。手口の例としては、「俺の車にかすただろう。目撃者もいるぞ。さあ、どうする？」といった言いがかりなどだ。車の後部がわずかに何かにぶつかったと感じた、あるいは相手の車との衝突を避けるためにハンドルを左に切った運転手は、何が起こったかはっきりわからず、あたふたしてしまう。ドアにちょっとした傷が付いた、バックミラーが破損したなど言いがかりを付け、事故が起きていないのに起きたと信じ込ませる。いずれも、被害者の「驚き」を利用したものだ。暴力行為は一切ないが、脅しの口調に発展するケースもある。「偽の」事故被害者は素早く警告灯を点け、偽の自動車保険業者に電話するなど、被害者が戸惑っている間に素早く事を展開させるのも手口の特徴のひとつ。電話口の保険業者はもちろん、供述調書の作成を避けて話し合いで折り合いをつけるよう勧める。こうして被害者は現金を渡して解決することになる。
また、別の手口の例として、ハイパーマーケットの駐車場などでのタイヤのパンクがある。被害者が店内でキャッシュカードで買い物の支払いをしているときに共犯者の1人が暗証番号を盗み見し、別の共犯者が駐車場で自分の車のタイヤをパンクさせ、被害者が駐車場に戻って詐欺師に手を貸そうとしている間に1人が被害者の財布を狙うというものだ。また、やはり駐車場で1人が地図を持って道を尋ねている間にもう1人が被害者の車の中にあるものを盗む手口もある。（プログレ紙8月25日）

① 空き巣、盗難

- 7月31日朝、リヨン3区で、お年寄りが偽の水道局職員と警察官の手口による盗難の被害に遭った。（プログレ紙8月2日）
- 8月4日、リヨン2区の宝石店に2人の女性が訪れ、宝石を見たいと店員に頼んで試着しいた。そこへカップルが店に入り、店員の注意を引いているすきに2人は宝石を盗んでこっそりと店を出ることに成功。3万8000ユーロ相当のCartierの指輪と、4500ユーロ相当のネックレスが盗まれた。（プログレ紙8月6日）
- 8月5日午前4時前頃、リヨン6区のCréqui通りで、20台ほどの車のガラス窓を割って中のものを盗んでいた20歳代の男が車内盗難の現行犯で警察に逮捕された。（プログレ紙8月6日）
- 8月3日夕方、CaluireのスーパーAuchan ショッピングセンターにある宝石店で、2人組が店員バッジを盗み、販売員の隙を狙ってショーケースから宝石類を盗むことに成功した。被害額は1万3000ユーロにのぼる。（プログレ紙8月8日）

- 8月13日午前9時半頃、リヨン8区で、88歳の老人女性が自宅で盗難の被害に遭った。犯人は女性で、被害者の後をつけて自宅まで来ると、引っ越して来たばかりの隣人を装い、水漏れの問題があるなどの話をしているすきに共犯者が被害者の自宅から宝石類を盗んだ。(プログレ紙8月15日)
- 8月14日、Caluireで、32歳の男が通りがかりの73歳の老人女性にタバコはないかと訊ね、女性が吸いかけのタバコを渡そうとハンドバッグを歩道に置いたところ、男がバッグをひったくった。女性はバッグのショルダーストラップをつかんだ弾みに怪我を負った。男は現金30ユーロを盗んだが、間もなく警察のパトロール隊に逮捕された。(プログレ紙8月17日)
- 8月16日夕方5時半頃、Vienne (Isère 県)で、通りを歩いていた91歳のお年寄りが2人の若者にハンドバッグを乱暴にひったくられ、その弾みで転倒して顔に怪我を負った。(プログレ紙8月18日)
- 8月18日夜7時半頃、Vaulx-en-Velinで、窓から一軒家に忍び込んで空き巣を働いていた犯人が近くの住民に目撃され、警察に通報されたとわかると近くに止めてあった車で逃げたが、プレートナンバーから持ち主が判明。パトカーに追跡され、Villeurbanneまで来たところで路上駐車した車に追突。車から降りて逃走したが間もなく警察に逮捕された。犯人の車の中には、別の空き巣事件の盗難品も見つかった。(プログレ紙8月20日)
- 8月22日午前10時頃、リヨン7区で、81歳のお年寄りが偽の水道局職員と警察官の手口による盗難の被害に遭い、小額の現金と宝石類、キャッシュカードと暗証番号が盗まれた。数分後、カードで現金が引き落とされていた。リヨン3区では、84歳のお年寄りが個人宅で多発している宝石類盗難事件の調査を偽った警察官による宝石類盗難の被害に遭った。(プログレ紙8月23日)
- 8月23日朝、リヨン6区と7区で78歳と88歳のお年寄りが偽の水道局職員と警察官の手口による盗難の被害に遭い、宝石類などを盗まれた。警察では、特にお年寄りに、見知らぬ者が訪ねてきたらドアを開けたり家の中に入れたりしないこと、身元が疑わしい場合は最寄の警察署に問い合わせることなど、注意を呼びかけている。(プログレ紙8月25日)
- リヨン4区で、80歳代の老人が3人組にかばんをひったくられた。かばんには引き出した現金、財布、小切手帳が入っていた。犯人らは老人がATMで現金を引き出しているところに目を付けたと思われる。(プログレ紙8月29日)

② 強盗・脅し窃盗

- 8月6日午前0時過ぎ頃、パール・デュー地区を車で走っていた29歳の男性がいきなり覆面の男にピストルで脅され、現金を要求された。被害者が抵抗すると男は数回発砲。被害者は顔に軽い傷を負った。犯人は20ユーロを奪って逃げた。(プログレ紙8月7日)
- 8月6日、Villeurbanneに住む17歳と18歳の若者が警察に逮捕された。2人は、7月31日に同市に住む2人の姉妹が帰宅するところを襲い、脅して被害者の自宅まで連れて行くと、宝石類やキャッシュカードを奪ってカードで現金を引き出すなどした。また被害者を縛って車を奪い、これに乗って逃走した。(プログレ紙8月10日)
- 8月16日午前、Givorsで、2人組が押し入り強盗の容疑で留置された。2人は、前夜に同市で起きた押し入り強盗・監禁事件に加担した疑い。武器を持った覆面の3人組が同市に住む夫妻の自宅に押し入り、まず夫に現金を要求したが拒否されたため、今度は妻に金を要求。現金数千ユーロの入ったバッグをひったくった。その後犯人らは夫婦をバスルームに閉じ込め、逃げていくところへちょうど夫妻の息子が戻って来た。3人目の容疑者は指名手配中。(プログレ紙8月18日)

③ 暴力・窃盗事件

- 8月14日午前2時半頃、リヨン1区のSaint-Polycarpe通りで、Vaulx-en-Velinに住む2人組が通行人の1人にライターを借りた後返そうとせず、おまけにリュックサックをひったくった。(プログレ紙8月15日)
- 8月13日夜、リヨン3区で、23歳の若者が、携帯電話を奪い取ろうとした数人のグループに殴られて病院に運ばれた。犯行があったのはパール・デュー駅前のCharles-Béraudier広

場で、18歳から23歳の若者4人が容疑者として逮捕された。(プログレ紙8月17日)

3.テロなどに関する一般治安情報

特になし。

4.在留邦人の被害事例

ローヌ＝アルプ州における被害報告は特になし。

5.その他の情報

交通事故：ローヌ県で、2012年の最初の7ヶ月での死亡者数が前年比で減少

死亡者は、前年の同期間の死亡者数40人に対して23人と、42.5パーセントの減少を見せている。自動車事故件数は、2011年の1202件に対して1249件と増加しているが、重大事故は比較的少なかった。そのため、自動車事故に遭って入院した人の数が24.1パーセント減少している(373人に対し283人)。(プログレ紙8月8日)

2013年初めに、リヨン中心街とコンフリユアンス地区を往復するヴァポレットの2艇目が運航されることになる。このヴァポレットは、当初年間6万5000人の利用者を見込んでいたが、4月の運航開始以来たったの4ヶ月で利用者が8万人に達するほどの大人気。1艇目のヴァポレットは中古船を修復したもので、収容能力は85人だが、2艇目はこの目的のために特別に作られ、収容能力も1艇目をやや上回る予定だ。また、始発時間を早めることで、観光やショッピングだけでなく通勤手段としての利用も検討されている。(プログレ紙8月8日)